

平成29年度 5年生 福岡市生活習慣・学習定着度に関する調査についてのお知らせ

平成29年度、5年生 福岡市生活習慣・学習定着度調査に関する調査結果と今後の取組について報告いたします。学校でも、取組を進めますので、ご家庭でもご協力よろしくお願ひします。

1. 本校の調査結果

【5年生】 国語 福岡市標準との比較 同程度である 算数 福岡市標準との比較 同程度である

- | | |
|-------------------|--------|
| ○ 福岡市標準との比較で本校は、 | |
| 「話す・聞く能力」 | 同程度である |
| 「書く能力」 | 同程度である |
| 「読む能力」 | 同程度である |
| 「言語についての知識・理解・技能」 | 同程度である |

- | | |
|-------------------|----------|
| ○ 福岡市標準との比較で本校は、 | |
| 「数学的な考え」 | 同程度である |
| 「数量や図形についての技能」 | 努力を要する |
| 「数量や図形についての知識・理解」 | やや上回っている |

5年生の国語、算数は福岡市標準と比べてともに「同程度である」でした。しかし、項目別にみると、国語では、「話す・聞く能力」、「読む能力」、「知識・理解・技能」の項目では、2~3ポイント福岡市標準より下回っていることが分かりました。「書く能力」の項目では、3.5ポイント上回っていることが分かりました。

算数では、「数学的な考え方」の項目で0.8ポイント、「数量や図形についての技能」の項目では4.6ポイント下回っていました。「数量や図形についての知識・理解」の項目では、3.8ポイント上回っていることが分かりました。

2. 今後の取組

課題を踏まえて、次の点で学力向上の取組を進めていきます。

(1) 国語の「漢字の表記」、「話すこと・聞くこと」、「説明的文章を読むこと」、の力をつけていくために

- 教科全般で、言語活動を大切に授業づくりに努めます。
- 全校で取り組むチャレンジタイムに、火曜日に読書、水曜日に漢字、木曜日に音読を取り入れることで、国語の力を伸ばしていきます。
- 補充発展の時間を活用し、発達段階に応じた読解問題や、視写の課題を取り入れていきます。
- 国語の学習では、自分の考えがどの叙述に基づいているか、自分の経験とどう結びついているのか等を明らかにしながら、自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り入れていきます。

(2) 算数の「数量や図形についての技能」の力をつけていくために

- 三角定規や分度器、コンパス等を使って、正確に数を測ることができるよう練習課題に取り組みます。
(※ 正確に測ることができるものか、ご家庭でもご確認をお願い致します。)
- 補充発展の時間を活用し、課題を踏まえた取り組みを実施していきます。
- 全校で取り組むチャレンジタイムの、月曜日と金曜日に算数を設定し、得点率の低かった内容に取り組みます。

3. 生活習慣や学習意識との関連

- 本校は、全国と比べ、「1日2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしている」児童の割合が多く、逆に、「1日1時間以上家庭学習をしている」児童の割合が少ないことが分かりました。「時間を決めてテレビを見たりゲームをしたりしている」ができていない児童ほど学力が高い傾向があります。
→本校では、中学ブロックと連携して、ノーメディアデーに取り組んでいます。ご家庭でもこの機会に約束を決めたり確認したりしていただくとともに、ご協力をお願い致します。
- 本校は、全国と比べ、「自分で計画を立てて勉強している」児童の割合が少ないことが分かりました。
→本校では、5、6年生を中心に自主学習に取り組むよう、声かけをしています。毎週末、自学ノートに1ページ以上、各教科の予習や復習、日常の事柄などを自分なりにまとめる家庭学習があります。一週間をふり返ったり、翌週の予習をしたりなど、自分なりに計画を立てながら取り組むことで力につながると思います。